学校番号	1016

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of MUSIC（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を作ること」それぞれ特に研究したい分野を追及し、3年間の集大成として卒業発表会を成功させましょう。
そのために「どう演奏したいか」「どんな気持ちで音楽を作っていくか」考えながら、表現することを大切に演奏し、音楽を楽しみましょう。

2　学習の到達目標

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方、考え方を働かせ、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め，芸術 の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。
【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的、歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的、協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽構造や文化・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解している。【知識】 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。【技能】	音楽を形づくっている要素や要素同時の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
第1・2クール	歌唱	日本歌曲 「初恋」 外国曲 「sent nel core」 舞台音楽 「誰も寝てはならぬ」 ポップス「時代」 「島人の宝」	a: 曲種に合った発声法が身に付いている。 b: 歌詞の内容を理解し曲の背景等イメージして表現している c: 曲種に偏りなく関心をもって主体的に取り組んでいる。	ワークシート 発表	発表 ワークシート 筆記テスト	観察 発表 ワークシート
	器楽	リズムアンサンブル 「手拍子のための音楽」	a: 様々なリズムを演奏する技能が身についている。 b: リズムの特徴を理解し、各自の役割を果たした表現をしている。 c: 楽曲に出てくる様々なリズムに興味をもち、主体的に取り組んでいる。	筆記テスト ワークシート 発表	筆記テスト ワークシート 発表	観察 練習記録 自己評価
第3クール	器楽アンサンブル	選択曲	a: 各担当パートを演奏する技能が身に付いている。 b: 調和を取りながら、個性豊かな表現をしている。 c: 各自のパートを意欲的に取り組んでいる。	ワークシート 発表	ワークシート 発表	観察 練習記録 自己評価
第4・5クール	卒業コンサートを成功させよう	卒業演奏会 個人 「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を研究すること」より各自得意な音楽活動で発表する グループ 数名のアンサンブル 全体合唱 全体合奏	a: それぞれの音楽活動を人前で発表するだけの技術や心構えが身に付いている。 b: 自分の個性が一番出る音楽活動でいかに表現している。c: 卒業コンサートに向けて積極的、主体的に関わっている。	ワークシート 発表	発表 ワークシート	観察 発表 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度